

逗子の未来協議会 レポート（平成30年1月）

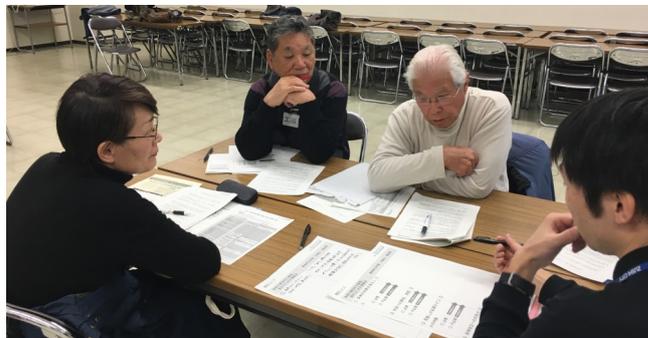
No.13

「逗子の未来協議会」とは（仮称）逗子市自治基本条例の検討を行うワークショップのことです。

第13回ワークショップテーマは「条例の推進/見直し」

自治基本条例は制定したら、それで終わりではありません。条例を推進し、時には見直しをすることも想定しておく必要があります。

13回目の逗子の未来協議会では、相模女子大学の松下啓一教授にご参加いただき、条例の実効性を確保するための着眼点を考え、仕組みを検討しました。



松下先生ミニ講義 「こういう時だからこそ、自治基本条例」

（仮称）自治基本条例検討会で最高規範性について検討したことを踏まえ、自治基本条例の実効性を高めることについて、松下先生に講義をしていただきました。

「自治基本条例の最高規範性について」

自治基本条例を自治体の憲法と考えると、自治基本条例は他の条例より上位に位置付けられる、「まちの最高のルール」と言えます。これが最高規範性ということです。しかし、条例同士は対等であり、他の条例より上位に位置付けることはできません。

そこで、最高のルールである自治基本条例の最高規範性をどう考えるのが大切なポイントです。ここまでの検討では、**自治基本条例は、「まちの最高のルールであると同時に、自治を進めていくために必要な政策を立ち上げていく（新しいことを花開かせる）ための土台になるもの。」**と考えています。

「実効性を高めるとは…」

一人ひとりがまちづくりについて考え、判断し行動していく、つまり当事者となることで、自治基本条例の実効性が高まります。

例として、愛知県新城市の市長選挙・公開政策



討論会や静岡県牧之原市の市民ファシリテーターが挙げられます。

他にも、条例の発展として、若者、自治会・町内会、事業者にも存分に力を発揮してもらうことで、条例の意義が具体化していきます。

さらに、大事なのはこのような活動を後押しする職員です。職員が活動を盛り上げていこうと考えることで、まちが変わります。市民や事業者を後押しする職員が実効性を高めるためのポイントです。

また、市民や職員が力をだせる仕組み、根拠を提案することにより実効性を高めることが、議員の役割となります。

これからは様々な問題を皆で一緒に考えていく必要があります。まちについて一緒に考えることで、オール逗子で課題を乗り越えていく。**条例を作るだけでなく、具体的な仕組みを作って実効性を高め、盛り上げていくことが幸せな暮らしにつながります。**

グループワーク「条例の実効性を高めるために必要なこと」

グループワークでは、主に「①条例の効果を測ること」「②市民への周知、浸透」「③見直しが必要かどうかの判断」「④条例改正への市民の関わり」という着眼点をもとに、条例の実効性を確保し、高めるために必要な具体的な内容、仕組みについて意見交換しました。

その後、議論の中で一番盛り上がったことをグループごとに発表し、松下先生にコメントをいただきました。

それぞれの着眼点について、話し合われた内容を紹介します。



<p>① 条例の効果を測ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりにとって感じることでできる効果を数値で測る。例えば、市民全員にアンケートする。 ・効果の実感、満足感が評価の基準になるのではないか。
<p>② 市民への周知、浸透</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大人だけでなく、子どもにも周知できる工夫を！ ・小中学校の参観日に出張授業を行う。子どもの学びを通じて、大人の関心を高める。 ・町内会単位で見られるようにする。掲示板に大きく載せる。 ・待ちの姿勢ではなく、問いかけ、アプローチする姿勢が必要。市民側も関心を持つ姿勢が大事。 ・これまで力を出していない人の参加を促す仕組みが必要。

<p>③ 見直しが必要かどうかの判断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見をキャッチする機能を条例に盛り込む。 ・社会の変化に対応する、市民の生活が変わってくる時に見直す。 ・公平で客観性のある機関が必要。
<p>④ 条例改正への市民の関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民同士の意見交流や市民・行政・議会の三者が同じ場で必ず関わる仕組みをつくる。 ・パブリックコメントを発展させていく必要がある。

※ 意見等は、市ホームページでご覧いただけます。



松下先生からのコメント

自治基本条例は、「文化」をつくる条例。つまり、私たちの暮らしや生き方、考え方をつくっていく条例です。明日からすぐに何かが変わるわけではなく、徐々に効いてくる土台です。

グループワークでは、具体的な知恵がたくさん出てきました。この条例を起爆剤にして、まちづくりが発展していくような条例にしてほしいと思います。